

出張研修会報告

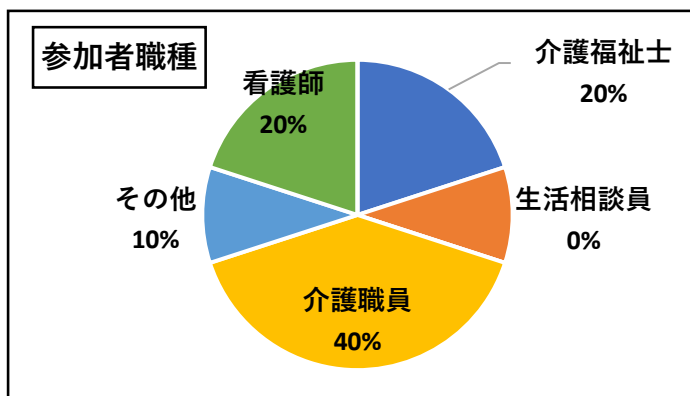
この研修会は、『専門性を高めよう～介護現場で活かせる実践力』をテーマに、在宅・介護現場で働く方々の知識・技術の向上を目指し開催しました。

日 時	令和7年11月11日(火)14時～15時
開催場所	グループホーム 大手町 和心
講 師	山形県立新庄病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 小野紀子氏
研修内容	床ずれケア ～早期発見して、予防するには～ 1. 床ずれはなぜできるか 2. 床ずれ危険度チェック表の活用 3. 床ずれがしやすい人とは その対策とケア
参加人数	11名

アンケート回答状況:参加者 11名、回答者 10名(回答率 90.9%)

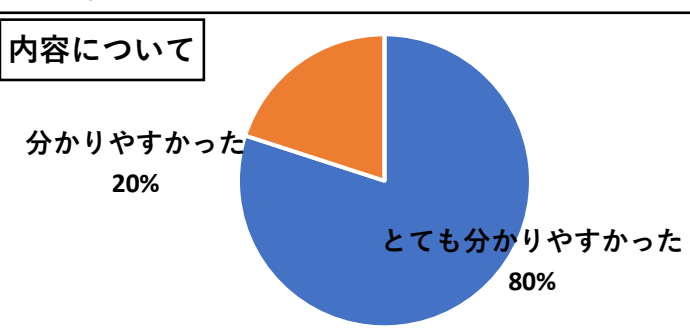
参加者職種

所属	人数	割合
介護福祉士	2	20%
介護支援専門員	1	10%
生活相談員	0	0%
介護職員	4	40%
その他	1	10%
看護師	2	20%
リハビリ	0	0%
計	10	100%



1. 研修会の内容について、いかがでしたか。

	人数	割合
とても分かりやすかった	8	80%
分かりやすかった	2	20%
あまりわからなかった	0	0%
その他	0	0%
無回答	0	0%
計	10	100%

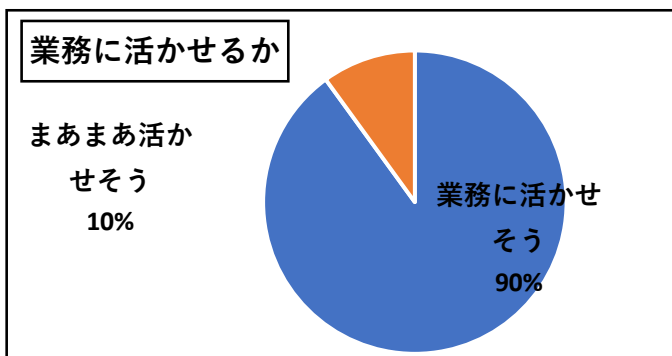


《とても役に立った、役に立った 主な理由》

- ・資料も分かりやすく聞きやすかったです
- ・はじめての方でもわかるように資料を作っておき、とても分かりやすかったです
- ・とても分かりやすく説明してくださったのでよく分かりました
- ・現在、施設に褥瘡の人がいないので、忘れていたこともあり、思い出すことが出来ました

2. 今後の業務に活かそうですか。

	人数	割合
業務に活かそう	9	90%
まあまあ活かそう	1	10%
あまり活かさない	0	0%
活かさない	0	0%
無回答	0	0%
計	10	100%



《業務に活かそう、まあまあ活かそう 主な理由》

- ・エアーマットのシーツの敷き方、圧抜きグローブの活用
- ・保湿剤、保護剤など実際に病院で行っていること等参考になりました
- ・褥瘡の見分け方。体圧分散のポジショニング。排便チェックで下剤やケアの評価をすることで、その方に合った排便コントロールができること等
- ・褥瘡・排便共にチェック表などを活用しながら予防につなげたり、又排便に関しても一律に何日出ないから下剤とはならないよう、職員皆が共有できるようにしたいと思いました

3. どのような内容が印象に残っていますか。

- ・エアーマットへのシーツの敷き方が、張らなくてはいけないとばかり思っていたので驚きました
- ・床ずれ危険チェックをして、一緒に働く職員同士で情報を共有して利用者様が床ずれにならないように観察していきたいです
- ・褥瘡について再認識でき、チームメンバーと連携して対策していく必要性を感じました
- ・褥瘡の判定方法に、プラスチック板を使用すると良い
- ・拘縮予防は安楽で適切な姿勢（ポジショニング）
- ・体圧分散寝具の種類
- ・赤くなっている所を押して白くなる場合は、褥瘡ではないという見分け方や除圧の仕方、圧抜きグローブ等、現場で役立てられることがたくさんあり、勉強になりました
- ・褥瘡の”圧抜き”をすることは知らなかった、初めて聞く言葉でした

4. 今後の出張研修会にご希望のテーマ等がありましたらご記入ください。

- ・認知症の方への心のケア
- ・食事介助の仕方や嚥下について

